

学士院賞に10人 恩賜賞も受賞

日本学士院は13日、優れた業績を上げた研究者に贈る日本学士院賞に、プレート沈み込み帯の地殻やマントルの構造と地震活動の関係を調べた長谷川昭東北大名誉教授(71)ら10人を選んだと発表した。長谷川氏には恩賜賞も贈る。受賞者と授賞理由は次の通り。



【日本学士院賞・恩賜賞】
長谷川 昭(はせがわ・あきら) 東北大名誉教授、地震学。プレート沈み込み帯の構造と地震活動を研究。71歳。

【日本学士院賞】
奈良沢 由美(ならさわ・ゆみ) 城西大准教授、西洋美術史。フランス南部の教会祭壇の類型を体系化。51歳。



清水 展(しみず・ひろむ) 京大大学院教授、社会人類学。フイリピン・ルソン島の先住民の実態を調査。65歳。



高崎 史彦(たかさき・ふみひこ) 高エネルギー加速器研究所機構名誉教授、物理



学。粒子と反粒子の実験。73歳。
荒川 泰彦(あらかわ・やすひこ) 東京大教授、光電子工学。電子を閉じ込める量子ドットを研究。64歳。



横堀 寿光(よこぼり・としみつ) 東北大名誉教授、材料強度学。金属疲労を数値解析する理論。65歳。



難波 成任(なんば・しげとむ) 京大教授、植物病理学。植物の病原性細菌



のゲノムを解読。65歳。
戸田 達史(とだ・たつし) 神戸大教授、神経内科学。福山型筋ジストロフィー



など糖鎖合成異常症の解明。56歳。
遠藤 玉夫(えんどう・たまむ) 京都健康長寿医療センター研究所副所長、生化学。戸田氏との共同研究。63歳。



北村 惣一郎(きたむら・そういちろう) 国立循環器病研究センター名誉総長、医学。小児の心臓手術法確立。76歳。

